

## 2026 年度 臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	クラウンブリッジ補綴学講座
主任教授	関根秀志
プログラム責任者名 (プログラムの管理・運営)	関根秀志、久永竜一、野本 俊太郎、四ツ谷護
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	日本補綴歯科学会修練医・認定医・専門医 日本歯科審美学会認定医 日本接着歯学会認定医 日本口腔インプラント学会専修医・専門医 日本デジタル歯科学会専門医
研修期間 (入学時期)	原則として1年間。目標到達の程度により最長5年間までとする。(4月)
受入れ人数 (総数)	年 4名程度
指導医	関根秀志、久永 竜一、野本 俊太郎、四ツ谷護、酒井貴徳、黒田祥太、 平野瑞穂、大和田碧
修了の認定要件	治療を終了した指定された症例の報告書を作成すること。 研修会、症例発表、臨床実技・技工操作実技での評価に合格すること。
プログラムの目的	
歯科臨床にかかわる全般的知識の習熟と、補綴治療とくにクラウンブリッジ領域の知識および技能の修得。また、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士を指導できる人材の育成を目的とする。 日本補綴歯科学会認定研修機関の在籍要件を満たすものとする。	
ユニット	
補綴科 (クラウンブリッジ補綴学講座) の臨床専門専修科プログラム	
①研修会 (講習会、勉強会、症例検討会、若手対象レクチャーなど) への参加 ②症例発表 ③臨床実技、技工操作実技	
一般目標 (GIO)	
日本補綴歯科学会 (必須)、日本口腔インプラント学会 (任意) 日本歯科審美学会 (任意)、 日本接着歯学会 (任意)、日本デジタル歯科学会 (任意) の各学会認定資格を取得するための知識 および技能を修得する。	
行動目標 (SBOs)	
歯科臨床にかかわる全般的基礎知識を修得し、適切な治療計画の立案ができる。 補綴学的専門知識と臨床基本技能を習得し、適切な補綴治療が行える。 補綴学的専門知識と臨床基本技能を習得し、適切な治療結果の評価ができる。	
方略 (LS)	
講義・実習： ①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技 ケーススタディ：①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技 臨床実習： ③臨床実技、技工操作実技	
評価 (EV)	
総括的評価、観察記録、口頭試問： ①研修会への参加、②症例発表、③臨床技能、技工操作実技	
プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準	
日本補綴歯科学会の認定医申請には認定研修施設所属歴1年以上、学術大会3回出席、多肢選択式筆記試験 合格を満たさなければならない。補綴治療症例10症例、ケースレポート10症例が必要。 日本歯科審美学会認定医取得には会員歴5年以上 (日本補綴歯科学会専門医は3年以上)、学術大会出 席、論文・口演発表、ケースプレゼンテーション合格が必要。 日本接着歯学会認定医取得には会員歴5年以上、学術大会出席、論文・口演発表が必要。 日本口腔インプラント学会専修医取得には会員歴2年以上、学術大会参加・発表、2年経過症例5例提 示、ケースプレゼンテーション試験合格、ケースプレゼンテーション論文の誌上発表が必要。	
問い合わせ先	関根秀志 (sekine@tdc.ac.jp) 野本俊太郎 (nomotos@tdc.ac.jp)